



ボランティア通信 2017.9 Vol.209

なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会
(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail vltr94@leto.eonet.ne.jp

Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com

ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンター
にお問い合わせください
(☎894-3737)

11月12日(日)10時~15時/保健福祉総合センターで開催

- 「あい」の対面朗読
- 「虹の会」の点字体験
- 「糸ぐるま」の介護衣料の展示
- 「玉手箱」のおもちゃ作り
- 「糸ぐるま」の介護衣料の展示
- Vグループ連絡会活動パネルの展示
- 高齢者疑似体験
- 館内の出展ブース

- 「糸ぐるま」のバザー
- 本部バザー
- 植木市
- 野点
- 屋外ステージでは
昨年の実績では
○「HAND」によるいきいき歌体操
- 「ひまわり」による車いすダンスですが、今年はまだ未定です。

高齢者疑似体験コーナー
8月4日(金)、交野市健康福祉フェスティバル実行委員会が開催され、今年フェスティバルの大綱が決まりました。内容的には昨年とあまり変わらない形です。Vグループ連絡会では次の通りの出展(展)を予定しています。

ふれあい広場では

ふれあい広場では、今年役員会・リーダー会等の検討を経て、出展ブースを2つ減らし、3つのブースを出展することにになりました。

ふれあいホールイベント

- 9:45~ オープニングセレモニー
- 10:00~ 交野高校吹奏楽部演奏
- 10:50~ 献血に関する啓発
子育て支援事業の啓発
健康に関する啓発
元気アップ体操
- 11:50~
- 13:00~ ででんこ交野・和太鼓演奏
- 13:25~ 紙芝居
- 14:00~ 交野高校吹奏楽部演奏



「HAND」によるいきいき歌体操(昨年)

第26回健康福祉フェスティバル大綱決まる

ボランティア・インタビュー56 仲西 公子さん(いぶき)



ボランティアを始められたきっかけは?

お花が好きだった事と、広報で寄せ植え教室の募集があり参加しました。一年たつてから、PTAの時の仲間が誘ってくださって入りました。メンバーの人たちは、朗らかで、やさしくて活動日がとても楽しみでした。

お花だけでなく料理も

お花の名前以外にも料理を教わったりもします。始めはお花にこんなにも手をかけ、何回も植えかえるのに、驚きました。でも美しい花が咲くと今までの疲れがとれます。講習会にも参加し、お花の名前も覚え、

わからない時はネットで調べたりします。

趣味は「無沙汰です」

今までは手芸や習字をしていましたが、最近、年を取ったせいかな? していません。

好きな本は

鎌田實さん(医師)の『1%の力』。著書の中に『1%は誰かのために生きなさい』小さいけれど、とてつもない力。自分、自分、自分の時代。今こそ誰かのための『1%の力』が必要だと言っておられます。

大好きな言葉で感動し、いつも言葉を思い出しながら、ボランティア活動しています。

これからは

主人も地域でいろんなボランティアに頑張っています。これからもお互い体に気を付けて頑張らなければと思う日々です。

リーダー会議

(8月22日)

☆会長挨拶

- ・市民交流フェスタへのお礼
- ・登録ボランティア交流会開催日変更のお願い(来年1月27日(土)を2月18日(日)に変更します)

☆連絡会より

- ・市民交流フェスタ報告
- ・イベントの総括、参加者アンケート集計結果の報告、会計報告等の後、各リーダーから市民交流フェスタの感想・意見を出していただきました。
- ・実行委員会を8月24日(木)に開催し、イベントの反省を中心に討議します。
- ・第26回健康福祉フェスティバルについて(1面参照)

☆センターより

- ・大阪880万人訓練について
- ・ボランティアセンター消防訓練
- ・12月リーダー会議終了後に実施
- ・赤い羽根共同募金活動について(3頁参照)

☆各グループの近況報告(省略)

編集
後記

声出ない
苦しみ知って
(Y・Y)

場面緘黙^{かんもく}という症状に悩む高校一年生の少女を取り上げた新聞記事を読んで、そのような病気があるのを初めて知った。家族とは自然に話せるのに、学校など特定の場所で話せなくなる(声が出ない)。言葉を理解し話す能力は正常なのだが、どうしてなのと悩む少女が、カウンセラーに勧められてイラストを描き始めた、好きな動物などをパステルやマーカーを使って、色鮮やかに描いていく。少女は「作品を描くことで、自分の気持ちと向き合えた」と振り返る。同じ境遇の子が絵を見たのすすめで、「イラスト展」が決まった。少女は「悩んでいるのは貴女だけじゃないよ」と絵を通して周りに発信を始めた。

第21回市民交流フェスタ

8月5日(土) ゆうゆうセンター4Fで開催

今年の市民交流フェスタは開催を一ヶ月早め、また新たな試みを加味しながら、幅広い市民の参加を求めてのイベントを目指しました。ご来賓の黒田市長からは「各ボランティアグループの活動に対して、感謝と励まし」の言葉をいただきました。



黒田市長のご挨拶

市民交流フェスタ スナップ



ででんこ交野のみなさん「三宅島太鼓、鳴神」の2曲を演奏



水晶玉(中)、リング(右)を使っての演技をする交野高校ジャグリング部のみなさん



ボランティアサロン相談コーナーを開設



賑わうおもちゃづくり



紙芝居も楽しかった



さをり織りを体験

9月のボランティアサロンご案内

レクを届ける活動紹介 in ボランティアサロン

ボランティアに関して、知る、学ぶ、交流する会を、毎月ひらいています。

9月は、おもちゃ作りや演芸・ニュースポーツなどを通して世代間交流を図り、楽しい時間を届けるボランティア活動についてご紹介します。

当日は活動中の見学・おもちゃ作り体験もあります。ぜひお気軽にご参加ください。

とき：9月21日(木) 午後1時～3時
ところ：交野市ボランティアセンター 2階活動室
対象：交野市と周辺在住、在勤の方
参加費：無料
申し込み：ボランティアセンターまで



優しい心にふれて 楽しく散歩



暑さにうだりながら左手に日傘とハンカチを握りしめ、右手に持ったウチワをパタパタさせながら歩いていると、後ろから来た車が止まり窓を開けて「どちらまで?」「歩くのが目的ですから」と丁寧に断りましたが、自分勝手な今時に、こんな親切な方がおられるのだと見ず知らずの若い女性に感動しました。

それから家までの道は、足も心も軽く気持ちの良い汗を流しながら歩くことができました。

(ライム)

障がい児のサマースクール ふれんズがお手伝い

8月19日(土)、ゆうゆうセンター4F多目的ホールで「障がい児(者)親の会」によるサマースクールが開催され「ふれんズ」がお手伝いをしました。



段ボールを使って自分の身丈にあったロボットを全員が創り出した

今年も交野高校ジャグリング部の演技の後は、段ボールを使ってのロボットの製作に高校生のみなさんも一緒になつて大奮闘です。勿論「ふれんズ」の面々も頑張りましたよ? できあがったロボットはそれぞれの個性が發揮された素晴らしいものでした。

夏の高校野球選手権大会

広陵高校四度目の準優勝

昭和55年頃から3年足らずであったが、広島の広陵高校の近くに住んでいたことがあって広陵高校野球部に親しみを持っていて。今夏の選手権に甲子園出場を果たし、チームは期待にこたえて決勝戦まで勝ち進んだが、紫紺の優勝旗

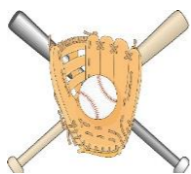
を手にすることは叶わなかった。

春の選抜では3回の優勝経験を持つ同校であるが、夏は4度目の準優勝で真に残念であった。しかし中村捕手の大会新記録となる6本塁打は、あの清原選手が持っていた

みんなの広場

みんなと一緒に!

高齢者大学の生徒として一年間を共に過ごした五人の仲間。お会いすることもままならず月初めに近況報告をと約束し、三年目に入ったメール交換。元気に活躍されている様子に刺激を受け、頑張らなきゃと思う私です。(T)



(S・H)

赤い羽根共同募金

街頭募金ボランティア募集

10月から赤い羽根共同募金活動がはじまります。募金と合わせて街頭での呼びかけに、ご協力をお願いします。

- 10月3日(火) 17:30~18:30 京阪交野市駅前
- 10月4日(水) 10:00~11:00 関西スーパー倉治店
- 17:30~18:30 JR星田駅前
- 10月6日(金) 17:30~18:30 JR河内磐船駅前

ご協力いただける方はボランティアセンターまで

電話 894-3737